

---

## 今村峯雄年譜

### 1942年（昭和17年）

10月19日 福井県越前市に生まれる

### 1961年（昭和36年）

3月 福井県立武生高等学校卒業

4月 横浜国立大学工学部応用化学科入学

### 1965年（昭和40年）

3月 横浜国立大学工学部応用化学卒業

4月 東京大学大学院理学系化学研究科修士課程入学

### 1967年（昭和42年）

3月 東京大学大学院理学系化学研究科修士課程終了

### 1970年（昭和45年）

3月 東京大学大学院理学系化学研究科博士課程終了（理博）

「A Study on Cosmic-Ray-Produced Nuclides in Iron Meteorites」により理学博士号（東京大学）  
を取得

4月 日本学術振興会奨励研究員

9月 カリフォルニア大学（サン・ディエゴ）博士研究員

### 1972年（昭和47年）

5月 東京大学理学部（化学教室）助手

### 1973年（昭和48年）

11月 東京大学原子核研究所助手に配置替

### 1985年（昭和60年）

7月 東京大学原子核研究所助教授

### 1986年（昭和61年）

4月 東京大学大学院理学系研究科担当（兼担、1996年9月まで）

### 1996年（平成8年）

10月 国立歴史民俗博物館教授

### 1998年（平成10年）

4月 金沢大学教授（併任、2001年3月まで理学部附属低レベル放射能実験施設）

### 1999年（平成11年）

4月 総合研究大学院大学文化科学研究科教授（併任）

### 2004年（平成16年）

4月 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館教授・研究総主幹（併任、2006年3月まで）  
総合研究大学院大学文化科学研究科担当教授

### 2008年（平成20年）

3月 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学を定年により退職

---

## 今村峯雄著作目録

### I 単著

1. 『年代をはかる』日本規格協会 1991年

### II 編著

1. 『弥生時代の実年代』（春成秀爾と共編）学生社 2004年
2. 『高精度年代測定法の活用による歴史資料の総合的研究』（小林謙一と共編）国立歴史民俗博物館研究報告 第137集 2007年
3. 『弥生はいつから?! 一年代研究の最前線—』企画展 図録 国立歴史民俗博物館 2007年

### III 分担執筆

1. 「微弱放射能—ベータ・ガンマ・エックス線放射体」新実験化学講座10『宇宙地球化学』丸善 1976年
2. 「加速器による年代測定」『応用放射線ハンドブック』朝倉書店 1990年
3. 「希ガス」『分析化学要覧』丸善 1991年
4. 「加速器質量分析」第4版実験化学講座14『核・放射線』丸善 1992年
5. 「考古学における<sup>14</sup>C年代測定—高精度化と信頼性に関する諸問題—」『考古学と化学をむすぶ』東京大学出版会 2000年
6. 「年代研究の最先端」（講演会収録）『揺らぐ考古学の常識』総研大日本歴史専攻・国立歴史民俗博物館 2004年
7. 「自然科学と考古学」『考古学と歴史』（財）放送大学教育振興会 2004年
8. 「科学的年代測定はどこまで進んだか」『科学が解き明かす古代の歴史』クバプロ 2004年
9. 「AMS炭素年代測定法と暦年較正」『弥生時代の新年代』第1巻 雄山閣 2006年
10. 「考古学・文化財への利用」『原子力ハンドブック』オーム社 2007年

### IV 報告書

1. 「松江市・夫手遺跡出土縄文時代前期土器（漆液容器）の実年代」『松江市文化財調査報告書第81集 夫手遺跡発掘調査報告書』松江市教育委員会（坂本稔・永嶋正春と共著）2000年
  2. 『日中古代青銅器および土器の産地に関する自然科学的研究』国立歴史民俗博物館（平成11～平成12年度科学研究費補助金・基盤研究（A）（2）研究成果報告書）2001年
  3. 「向郷遺跡出土試料の炭素年代測定」『向郷遺跡VI』立川市埋蔵文化財調査報告12（小林謙一と共著）2002年
  4. 「浅間山古墳出土試料の炭素年代測定」『印旛郡栄町浅間山古墳発掘調査報告書 第1分冊』（小林謙一他と共著）千葉県 2002年
  5. 「分谷地A遺跡出土土器の炭素年代測定結果について」『分谷地A遺跡 縄文時代後期の漆器』（小林謙一と共著）新潟県黒川村教育委員会 2002年
  6. 「分谷地A遺跡出土試料の炭素年代測定」『分谷地A遺跡II 下段（V区）編 縄文時代漆製品』新潟県北蒲原郡黒川村埋蔵文化財調査報告書 第8集（小林謙一・坂本稔と共著）新潟県黒川村教育委員会 2003年
  7. 「上安原遺跡出土土器の炭素年代測定」『上安原遺跡I（金沢市文化財紀要192）』金沢市（小林謙一と共著）2003年
  8. 「第5章 福岡市雀居遺跡出土土器に付着したススの年代学的調査」『福岡市埋蔵文化財調査報告書 第748集 雀居9（別冊）』（藤尾慎一郎・坂本稔と共著）福岡市教育委員会 2003年
  9. 「佐賀県唐津市梅白遺跡出土資料の年代学的調査」『佐賀県文化財調査報告書 第154集 梅白遺跡』（藤尾慎一郎・坂本稔と共著）佐賀県教育委員会 2003年
-

10. 「福岡市笠拔遺跡出土杭の年代学的調査」『笠拔遺跡1・2次調査』福岡市埋蔵文化財調査報告書 第752集（藤尾慎一郎・坂本稔と共著）福岡市教育委員会 2003年
11. 「南鍛冶山遺跡下の根地区出土土器の炭素年代測定」『南鍛冶山遺跡発掘調査報告書—藤沢市都市計画事業北部第二（二地区）土地区画整理事業に伴う調査—第10巻 古代6・付編』（小林謙一と共著）藤沢市教育委員会 2003年
12. 「第2節 田端遺跡出土土器の炭素年代測定」『東京都町田市 田端遺跡』（小林謙一・坂本稔と共著）町田市教育委員会 2003年
13. 「玉ノ井遺跡出土試料の炭素年代測定」『玉ノ井遺跡（第3・第4次）埋蔵文化財調査報告書44』（小林謙一・坂本稔と共著）名古屋市教育委員会 2003年
14. 「付章4 福島県楢葉町馬場前遺跡出土土器の炭素年代測定」『常磐自動車道遺跡調査報告書 第34』福島県文化財調査報告書 第398集（小林謙一と共著）福島県文化振興事業団 2003年
15. 「付章1 福島県富岡町前山A遺跡出土土器の炭素年代測定」『常磐自動車道遺跡調査報告書 第35』福島県文化財調査報告書 第399集（小林謙一・坂本稔と共著）福島県文化振興事業団 2003年
16. 「福島県栗木内遺跡出土炭化種子の炭素年代測定」『福島空港・あぶくま南道路発掘調査報告書14』福島県文化財調査報告書 第406集（小林謙一と共著）福島県文化振興事業団 2003年
17. 「付編I 福島県南倉沢・稲干場遺跡出土試料の炭素年代測定」『一般国道289号南倉沢バイパス遺跡発掘調査報告1』福島県文化財調査報告書 第409集（小林謙一・坂本稔と共著）福島県文化振興事業団 2003年
18. 「第3章 野辺地蟹田(10)遺跡出土試料の炭素年代測定」『野辺地蟹田(10)遺跡II 野辺地蟹田(12)遺跡 向田(34)遺跡—国道279号有戸バイパス建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—』（小林謙一・坂本稔と共著）青森県教育委員会 2003年
19. 『縄文時代・弥生時代の高精度年代体系の構築』国立歴史民俗博物館（文部科学省科学研究費補助金・基盤研究A研究成果報告書）2004年
20. 「畑内遺跡出土縄紋晩期土器付着物の炭素年代測定」『研究紀要』第9号（小林謙一・坂本稔・佐藤智生と共著）青森県埋蔵文化財センター 2004年
21. 「報文 千葉県富里市古込V遺跡千葉県富里市古込遺跡出土炭化物の<sup>14</sup>C年代測定」『考古学』2 安斎正人編（小林謙一・永嶋正春と共著）2004年
22. 「高知県土佐市居徳遺跡出土土器の<sup>14</sup>C年代測定」『居徳遺跡群VI』（藤尾慎一郎他と共著）（財）高知県文化財団埋蔵文化財センター 2004年
23. 「神奈川県小田原市中里遺跡出土試料の<sup>14</sup>C年代測定」『中里遺跡第I地点発掘調査報告書』（設楽博巳・小林謙一と共著）2004年
24. 「大阪府瓜生堂遺跡出土弥生～古墳時代土器の<sup>14</sup>C年代測定」『瓜生堂遺跡』大阪文化財センター調査報告書 第106集（小林謙一他と共著）2004年
25. 「岡山市南方（済生会）遺跡出土土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『岡山市埋蔵文化財センター年報』平成14年度（小林謙一他と共編）2004年
26. 「鹿児島県西之表市鬼ヶ野遺跡出土土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『鬼ヶ野遺跡』西之表市埋蔵文化財発掘調査報告書14（小林謙一・藤尾慎一郎と共著）西之表市教育委員会 2004年
27. 「VII 自然科学分析 八戸市是川遺跡・風張遺跡出土試料の<sup>14</sup>C年代測定」『八戸遺跡調査会埋蔵文化財調査報告書 第5集 是川中居遺跡中居地区G・L・M』八戸市埋蔵文化財調査報告書 第102集（小林謙一他と共著）2004年
28. 「第VII 自然科学分析 多摩ニュータウンNo.520遺跡出土試料の炭素年代測定」『多摩ニュータウンNo.520遺跡(2)』東京都埋蔵文化財センター調査報告 第137集（小林謙一・坂本稔と共著）東京都埋蔵文化財センター 2004年
29. 「青田遺跡出土土器付着試料の<sup>14</sup>C年代測定」『青田遺跡関連諸科学・写真図版編』新潟県埋蔵文化財調査報告書 第133集（小林謙一・坂本稔と共著）財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 2004年
30. 「群馬県安中市向原遺跡出土試料の<sup>14</sup>C年代測定」『天神林遺跡・砂押Ⅲ遺跡・大道南Ⅱ遺跡・向原Ⅱ遺跡』

- (小林謙一・坂本稔と共著) 安中市教育委員会 2004年
31. 「多摩ニュータウン内 No. 243 遺跡出土土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『東京都埋蔵文化財センター調査報告』第155集(小林謙一・坂本稔・陳建立と共著)2004年
  32. 「西ヶ原貝塚出土土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『西ヶ原貝塚』IV(小林謙一・坂本稔・陳建立と共著)東京都北区教育委員会生涯学習課 2004年
  33. 「森吉町向様田A遺跡出土土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『向様田A遺跡 遺物編—森吉山ダム建設事業に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ—』秋田県文化財調査報告書 第370集(小林謙一・坂本稔・陳建立と共著)2004年
  34. 「山梨県御坂町桂野遺跡出土土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『桂野遺跡—農道取付道路地区発掘調査報告書—』(小林謙一・坂本稔・陳建立と共著)(財)山梨文化財研究所・山梨県峡東地域振興局農務部・御坂町教育委員会 2004年
  35. 「山梨県明野村梅之木遺跡出土土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『梅之木遺跡Ⅲ・永井原Ⅴ遺跡』(小林謙一・坂本稔・陳建立と共著)明野村教育委員会 2004年
  36. 「井野長割遺跡出土炭化材の<sup>14</sup>C年代測定」『井野長割遺跡(第5次)』(小林謙一・坂本稔・陳建立と共著)佐倉市教育委員会 2004年
  37. 「山形県高瀬山遺跡Ⅰ期出土土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『高瀬山遺跡(1期)発掘調査報告書』第121集(小林謙一他と共著)山形県埋蔵文化財センター 2004年
  38. 「第3節 炭化物の年代測定(108図)」『国立歴史民俗博物館研究報告』第120集(杉山晋作と共著)2004年
  39. 「付編2 向原Ⅱ遺跡出土試料の<sup>14</sup>C年代測定」『天神林遺跡・砂押Ⅲ遺跡・大道南Ⅱ遺跡・向原Ⅱ遺跡』(小林謙一・坂本稔と共著)群馬県安中市教育委員会 2004年
  40. 「山形県小松崎遺跡出土土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『山形県埋蔵文化財センター研究紀要』第2号(小林謙一他と共著)山形県埋蔵文化財センター 2004年
  41. 「第8章 吉田遺跡出土炭化材の<sup>14</sup>C年代測定」『対馬吉田遺跡—縄文時代遺跡の発掘調査—』(小林謙一他と共著)九州大学大学院人文科学研究院考古学研究室 2004年
  42. 「長野県箕輪町荒城遺跡2次調査出土炭化材の炭素14年代測定」『荒城遺跡 平成13年度箕輪町町営住宅建替事業に伴う埋蔵文化財第2次緊急発掘調査出土炭化材の炭素14年代測定』(小林謙一・坂本稔・松崎浩之と共著)2004年
  43. 「Ⅶ 出雲市中野清水遺跡出土漆・土器付着物試料の<sup>14</sup>C年代測定」『大津町北遺跡・中野清水遺跡—一般国道9号線バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書5』(小林謙一・坂本稔・永嶋正春と共著)島根県教育庁埋蔵文化財調査センター 2004年
  44. 「北上市内遺跡出土土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『北上市埋蔵文化財年報(2002年度)』(小林謙一・坂本稔・陳建立と共著)2004年
  45. 「高松市東中筋遺跡出土縄文晩期土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『都市計画道路東浜港花ノ宮線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第二冊 東中筋遺跡—第2次調査—』高松市埋蔵文化財調査報告書70集(小林謙一他と共著)2004年
  46. 「池上曾根遺跡の柱根の炭素14年代」『史跡池上曾根99《第1分冊—本文編・付編》』(辻誠一郎, 春成秀爾と共著)和泉市教育委員会 2004年
  47. 「埼玉県寄居町中小前田2遺跡出土土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『中小前田2遺跡(第10次)』寄居町遺跡調査会報告 25集(小林謙一と共著)2004年
  48. 「韓国也音洞遺跡出土試料の炭素年代測定」『蔚山也音洞遺蹟—Ⅱ地区発掘調査報告書—』第6冊(小林謙一・坂本稔と共著)密陽大學校博物館, 東義大學校博物館, 蔚山廣域市 2004年
  49. 「第12章 出雲大社境内遺跡より出土した本殿柱材の年代測定結果について」『出雲大社遺跡』(坂本稔他と共著)大社町教育委員会 2004年
  50. 「Radiocarbon Dates of Charred Materials Collected from the Pottery of The A Ө PO II OPT 1 site」

---

『間宮海峡先史文化の復元と日本列島への文化的影響』東京大学常呂実習施設研究報告 第二集 (M. Sakamoto・T. Kumaki・Usuki と共著) 東京大学大学院人文社会系研究科付属北海文化研究常呂実習施設・ハバロフスク州郷土誌博物館 2005年

51. 「第6節2 炭素14ウィッグルマッチング法による柱材の年代測定調査」『重要文化財 関家 住宅主屋・書院および表門保存修理工事報告書』財団法人文化財建造物保存技術協会 2005年
52. 「花巻市上台遺跡出土縄文草創期土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『上台I遺跡発掘調査報告書(1)』花巻市博覧調査研究報告書 第2集 (小林謙一他と共著) 2005年
53. 「大和市上野遺跡出土縄文草創期土器付着物の<sup>14</sup>C年代」『大和市史研究(第31号)』(小林謙一・春成秀爾と共著) 神奈川県大和市役所 2005年
54. 「北檜山町生淵2遺跡出土土器に付着した炭化物の炭素14年代測定」『北檜山町 生淵2遺跡』(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書214 (坂本他と共著) 2005年
55. 「岩崎市原の辻遺跡出土土器に付着した炭化物の炭素14年代測定」『原の辻遺跡 総集編I』原の辻遺跡事務所調査報告書 第32集 (藤尾他と共著) 長崎県教育委員会 2005年
56. 「第6節 長野県茅野市長峰・聖石遺跡のAMS<sup>14</sup>C年代測定」『国道299号線バイパス建設事業埋蔵文化財発掘調査報告書—長峰・聖石遺跡—本編』長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書69 (小林謙一他と共著) 2005年
57. 「仲内遺跡出土土器付着物の<sup>14</sup>C年代測定」『仲内遺跡』栃木県埋蔵文化財調査報告 第296集 (小林謙一と共著) 栃木県教育委員会
58. 「唐古・鍵遺跡, 清水風遺跡出土資料の<sup>14</sup>C年代測定」『田原本町文化財調査年報14 2004年度』(小林謙一他と共著) 田原本町教育委員 2006年
59. 「第6節 岐阜県揖斐川町塚奥山遺跡出土試料の<sup>14</sup>C年代測定」『塚奥山遺跡』(第2分冊 遺物・分析・考察編) (小林謙一他と共著) 2006年

## V 論文

1. 「鉄質イン石中の宇宙線生成極微量カリウム, カルシウムの測定」『質量分析』16, (島正子・本田雅健と共著) 1968年
  2. 「鉄質イン石中の宇宙線生成極微量チタン, バナジウムの測定」『質量分析』(島正子・本田雅健と共著) 1968年
  3. Application of Neutron Activation Method for <sup>53</sup>Mn in Meteoritic Iron, Earth and Planetary Science Letters, 6 (H. Matsuda・K. Horie・M. Hondaと共著) 1969年
  4. Some Stable and Long-lived Nuclides Produced by Spallation in Meteoritic Iron, Meteorite Research (Astrophysics and Space Science Library Vol. 12, (M. Shima 他と共著) D. Reidel 1969年
  5. Distribution of Some Stable and Long-lived Nuclides Produced by Cosmic Rays in the Iron Meteorite Grant, Recent Developments in Mass Spectroscopy, (M. Shima・M. Hondaと共著) University of Tokyo Press, 1970年
  6. Half-life of <sup>53</sup>Mn, Physical Review C, 4 (M. Hondaと共著) 1971年
  7. Depth Variation of Cosmogenic Nuclides in a Lunar Surface Rock and Lunar Soil, Proceedings of the Second Lunar Science Congerence (R. C. Finkel 他と共著) 1971年
  8. Cosmogenic Nuclides in Foot-ball-sized Rocks, Proceedings of the Lunar Science Congerence, 3<sup>rd</sup> (M. Wahlen 他と共著) 1972年
  9. <sup>60</sup>Co in Lunar Samples, Earth and Planetary Science Letters, 19 (M. Wahlen・R. C. Finkel・C. P. Kohl・J. R. Arnoldと共著) 1973年
  10. Depth Profile of <sup>53</sup>Mn in the Lunar Surface (R. C. Finkel・M. Wahlenと共著), Earth and Planetary Science Letters, 20, 1973年
  11. Depth Profiles of <sup>53</sup>Mn in Lunar Rocks and Soils, Proceedings of the Lunar Science Congerence, 5<sup>th</sup> (K. Nishiizumi 他と共著) 1974年
-

- 
12. A Low-Level Needle Counter, *Nuclear and Instruments and Methods*, 128 (Y. Fujita 他と共著) 1975 年
  13.  $^{53}\text{Mn}$  in the Apollo 15 and 16 Drill Stems : Evidence for Surface Mixing, *Proceedings of the Lunar Science Conference*, 7<sup>th</sup> (K. Nishiizumi 他と共著) 1976 年
  14. Low-level Needle Counter, Low Radioactivity Measurements and Applications (Y. Fujita 他と共著) 1977 年
  15. Depth Profile of  $^{10}\text{Be}$  in Marine Sediments, Low Radioactivity Measurements and Applications (T. Inoue 他と共著) 1977 年
  16. The  $^{10}\text{Be}$  Method of Dating Marine Sediments-Comparison with the Paleomagnetic Method, *Earth and Planetary Science Letters*, 37 (S. Tanaka · T. Inoue と共著) 1977 年
  17. Excess  $^{15}\text{N}$  in the Martian Atmosphere and Cosmic Rays in the Early Solar System, *Nature*, 274 (S. Yanagita と共著) 1978 年
  18. Cosmic Ray Induced  $^{53}\text{Mn}$  in Yamato-7301 (j) , -7305 (k) and -7304 (m) Meteorites, *Memoirs of National Institutes of Polar Research*, Spec. Issue 8 (K. Nishiizumi · M. Honda と共著) 1978 年
  19. The Extent of Lunar Regolith Mixing, *Earth and Planetary Science Letters*, 44 (K. Nishiizumi 他と共著) 1979 年
  20. Cosmogenic  $^{53}\text{Mn}$  in Antarctic Meteorites and Their Exposure History, *Memoirs of National Institutes of Polar Research*, Spec. Issue 15 ( K. Nishiizumi · M. Honda と共著) 1979 年
  21. Radial Distribution of Spallogenic K, Ca, Ti, V and Mn Isotopes in Iron Meteorites, *Zeitschrift fur Naturforschung*, 35a (M. Shima · M. Honda と共著) 1980 年
  22. Irradiation History of the Kirin Meteorite, *Geochemical Journal*, 14 (M. Honda 他と共著) 1980 年
  23. Depth and Size Dependence of  $^{53}\text{Mn}$  Activity in Chondrites, *Earth and Planetary Science Letters* (S. K. Bhattacharya · N. Sinha · N. Bhandari と共著) 1980 年
  24. Cosmogenic  $^{53}\text{Mn}$  Survey of Yamato Meteorites, *Memoirs of National Institutes of Polar Research*, Spec. Issue 17 (K. Nishiizumi 他と共著) 1980 年
  25. Cosmogenic K-40 in Antarctic Meteorites, *Memoirs of National Institutes of Polar Research*, Spec. Issue 17 (O. Nitoh · M. Honda と共著) 1980 年
  26. Cosmogenic Nuclides in the Kirin Chondrites, *Earth Planetary Science Letters*, 57 (M. Honda 他と共著) 1982 年
  27.  $^{10}\text{Be}$  and  $^{10}\text{Be}/^9\text{Be}$  in Manganese Nodules, *Geochemical Journal*, 17 (T. Inoue 他と共著) 1983 年
  28. Tandem Accelerator Mass Spectrometry of  $^{10}\text{Be}/^9\text{Be}$  with Internal Beam Monitor Method, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B*, 5 (Y. Hashimoto 他と共著) 1984 年
  29. Search for the Extra-terrestrial Materials in Deep Sea Sediments, *Memoirs of National Institutes of Polar Research*, Spec. Issue 41 (S. Amari · M. Ozima 他と共著) 1986 年
  30. Anomalous Electron Intensity Ratio of the E0 Internal Conversion in the Transitions of  $^{154}\text{Gd}$ , *Nuclear Physics A*, 473 (M. Sakai 他と共著) 1987 年
  31.  $^{14}\text{C}$  Dating of Archaeological Samples by AMS of Tokyo University, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B*, 29 (K. Kobayashi 他と共著) 1987 年
  32. Measurements of  $^{10}\text{Be}$  and  $^{26}\text{Al}$  in Some Meteorites with Internal Beam Monitor Method, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B*, 29 (H. Nagai 他と共著) 1987 年
  33. Photonuclear Spallation Reactions in Cu, *Physical Review C*, 35 (S. Shibata 他と共著) 1987 年
  34. 「炭素—14 加速器質量分析試料作製時における現代炭素の混入」『分析化学』36 (吉川英樹他と共著) 1987 年
  35.  $^{14}\text{C}$  Dating by Accelerator Mass Spectrometry of Carbonized Plant Remains from a Middle Paleolithic Hearth at Douara Cave, Syria, *Bulletin of University Museum, University of Tokyo*, 29 (K. Kobayashi 他と共著) 1987 年
-

- 
36. 「西八木層土木片のC-14年代」『国立歴史民俗博物館研究報告』13 (小林紘一他と共著) 1987年
  37. Precise Intensity Measurements of Internal Conversion Lines in the Decay of  $^{207}\text{Bi}$  and Systematic Comparison with Theoretical Predictions, Nuclear Physics A, 484 (Y. Fujita 他と共著) 1988年
  38. Electron Peaks in  $e^+ + \text{Th}, \text{U}$  and  $\text{Ta}$  Interactions, Physical Review C, 38 (M. Sakai 他と共著) 1988年
  39.  $^{10}\text{Be}$  Profiles in Lunar Surface Rock 68815, Proceedings of 18th Lunar and Planetary Science Conference (K. Nishiizumi 他と共著) Cambridge Univ. Press, 1988年
  40. 「AMSによる仏教試料の年代測定」『東方』5 (大橋英雄他と共著) 1989年
  41. Measurements of Long-lived Radionuclides in Environmental Samples by Accelerator Mass Spectrometry, Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, Articles (H. Nagai 他と共著) 1990年
  42. Barium and Xenon Isotope Yields in Photopion Reactions in Cesium-133, Physical Review C, 42 (K. Sakamoto と共著) 1990年
  43. Measurements of Production Cross Sections of  $^{14}\text{C}$  and  $^{26}\text{Al}$  with High-energy Neutrons Up to  $E_n=38$  MeV by Accelerator Mass Spectrometry, Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B, 52 (H. Nagai 他と共著) 1990年
  44. High  $^{10}\text{Be}$  Production Rate Found in Meteoritic Carbons, Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B, 52 (H. Nagai 他と共著) 1990年
  45. Static Operation of an AMS System Using the Beam Monitor Method, Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B, 52 (K. Kobayashi 他と共著) 1990年
  46. Electrochemical Calorimetry of  $\text{D}_2\text{O}$  Electrolysis Using a Palladium Cathode-An Undivided, Open Cell System, Bulletin of Chemical Society of Japan, 63 (N. Oyama 他と共著) 1990年
  47.  $^{26}\text{Al}$  Tracer Experiment by Accelerator Mass Spectrometry and its Application to the Studies for Amyotrophic Lateral Sclerosis and Alzheimer's Disease I, Proceedings of Japan Academy, 66 (K. Kobayashi 他と共著) 1990年
  48. Application of Accelerator Mass Spectrometry at the Tandem Facility of University of Tokyo-Measurements of Neutron-and Photon-Induced Reaction Cross-Sections, Proceedings 2nd International Symposium on Advanced Nuclear Energy Research Evolution by Accelerators (K. Kobayashi 他と共著) 1990年
  49. Research Plan of Radiation Shielding for Accelerator Facility and Monoenergetic Neutron Source, Proceedings 2nd International Symposium on Advanced Nuclear Energy Research-Evolution by Accelerators (S. Tanaka 他と共著) 1990年
  50. Excitation Functions for Photonuclear Reactions on Complex Nuclei in (3-3)-Resonance Region, Proceeding of Fourth Asia Pacific Physics Conference] (K. Sakamoto 他と共著) 1990年
  51. Aluminum Metabolism Studied by  $^{26}\text{Al}$  Tracer Using AMS Techniques, Proceeding of International Conference on Evolution in Beam Applications (K. Kobayashi 他と共著) 1991年
  52. Measurement of the Long-lived  $^{26}\text{Al}$  Production Cross Section in the  $^{27}\text{Al}(n, 2n)$  Reaction, Physical Review C, 43 (T. Nakamura 他と共著) 1991年
  53. 330.6KeV Electron Line in  $e^+ + \text{Th}$  Interactions, Physical Review C, 44 (M. Sakai 他と共著) 1991年
  54. 「加速器質量分析」『質量分析』39 (永井尚生・小林紘一と共著) 1991年
  55. 「加速器質量分析による  $^{10}\text{Be}$  and  $^{26}\text{Al}$  の測定」『質量分析』39 (永井尚生他と共著) 1991年
  56. Search for Violation of the Pauli Principle through Spontaneous Neutron Emission from Lead, Journal of Physics G: Nuclear and Particle Physics, 18 (T. Kishimoto 他と共著) 1992年
  57. A Low Background Neutron Measuring System and its Application to the Detection of Neutrons Produced by the  $\text{D}_2\text{O}$  Electrolysis, Nuclear Instruments and Methods in Physics Research A, 316 (T. Shibata 他と共著) 1992年
-

- 
58. Cosmogenic  $^{10}\text{Be}$  and  $^{26}\text{Al}$  in Metal, Carbon and Silicate of Meteorites, *Geochimica et Cosmochimica Acta.*, 57 (H. Nagai 他と共著) 1993 年
  59. Confirmation of the Reported 330-keV Electron Line in  $e^+$  +Th Interactions with Use of Another Kind of Positron Emitter, *Physical Review C*, 47 (M. Sakai 他と共著) 1993 年
  60. Invisible Axion Search in  $^{139}\text{La}$  M1 Transition, *Physical Review Letters*, 71 (M. Minowa 他と共著) 1993 年
  61. Measurements of  $^{10}\text{Be}$  and  $^{26}\text{Al}$  Production Cross Sections with 12 GeV Protons by Accelerator Mass Spectrometry, *Physical Review C*, 48 (S. Shibata 他と共著) 1993 年
  62. Half-lives of Technetium 97, 98, *Radiochimica Acta*, 63 (T. Kobayashi 他と共著) 1993 年
  63. A Method to Estimate Fast-neutron Fluence for the Hiroshima Atomic Bomb, *Journal of Physical Society of Japan*, 63 (T. Shibata 他と共著) 1994 年
  64. Development of p-Li Quasi-Monoenergetic Neutron Field between 20 and 90 MeV for Cross Section and Shielding Experiments, *Proceedings of the 8<sup>th</sup> International Conference on Radiation Shielding* (T. Nakamura 他と共著) 1994 年
  65.  $^{10}\text{Be}$  and  $^9\text{Be}$  Concentrations in the Deep Sediments at ODP Site 925B, Ceara Rise in the Western Equatorial Atlantic : Implication of  $^{10}\text{Be}$  Flux Change, *Proceedings of the Ocean Drilling Program Scientific Results*, vol. 154 (M. Murayama 他と共著) 1995 年
  66. Measurements of Production Cross Sections of Tritium from Oxygen Using p-Be and p-Li Neutrons up to  $E_n = 38$  MeV, *Radiochimica Acta*, 75 (S. Shibata 他と共著) 1996 年
  67. Identification of  $^{63}\text{Ni}$  and  $^{60}\text{Co}$  Produced in a Steel Sample by Thermal Neutrons from the Hiroshima Atomic Bomb, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research A*, 384 (K. Shizuma 他と共著) 1997 年
  68. Measurement of Proton-induced Production Cross Sections for  $^{36}\text{Cl}$  from Ca and K, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B*, 123 (K. Nishihizumi · M. W. Caffee · S. Shibata と共著) 1997 年
  69. New Interpretation of the  $^{10}\text{Be}$  and  $^{26}\text{Al}$  Content in Cosmic Spherules, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B*, 123 (U. Zoppi 他と共著) 1997 年
  70. Current Status of the AMS System at the University of Tokyo, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B*, 123 (K. Kobayashi) 1997 年
  71. The Long-term Variation of  $^{10}\text{Be}$  Flux Changes at ODP Site 925B on the Seara Rise in the Equatorial Atlantic, *Nuclear Instruments and Methods In Physics Research B*, 123 (M. Murayama 他と共著) 1997 年
  72.  $^{26}\text{Al}$  Uptake and Accumulation in the Rat Brain, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B*, 123 (S. Yumoto 他と共著) 1997 年
  73. High-energy p-Li Neutron Field for Activation Experiment, *Nuclear Instruments Methods in Physics Research A*, 123 (Y. Uwamino と共著) 1997 年
  74. Chromium Isotopic Composition of Some Chondritic Meteorites., *Antarctic Meteorite Reserches*, 10 (N. Kano と共著) 1997 年
  75. Yield Measurements of  $^7\text{Be}$  and  $^{10}\text{Be}$  Produced by Photonuclear Reactions at Intermediate Energies: Intercomparioson of Fragmentation Processes between Photon-and Proton-Induced Reactions, *Radiochimica Acta*, 80 (S. Shibata 他と共著) 1998 年
  76. Measurements of Neutron Spallation Cross Sections of  $^{12}\text{C}$  and  $^{209}\text{Bi}$  in the 20-to 150-MeV Energy Range., *Nuclear Science and Engineering*, 129 (E. Kim 他と共著) 1998 年
  77. Decay Properties of  $^{97\text{m,g}}\text{Tc}$ , *Nuclear Physics A*, 636 (T. Kobayashi 他と共著) 1998 年
  78.  $^{252}\text{Cf}$  Spectrum-averaged Cross Section for the  $^{63}\text{Cu}$  (n, p)  $^{63}\text{Ni}$  Reaction, *Czechoslovak Journal of Physics*, 49 (T. Shibata 他と共著) 1999 年
-



- 
79. Measurement of Excitation Function for  $^{63}\text{Cu}$  (n, p)  $^{63}\text{Ni}$  Reaction up to  $E_n=15$  MeV, Czechoslovak Journal of Physics, 49 (S. Shibata 他と共著) 1999年
  80. Measurements of Activation Cross Sections on Spallation Reactions for  $^{59}\text{Co}$  and nat. Cu at Incident Energies of 40 to 120 MeV, Journal of Nuclear Science and Technology, 36 (E. Kim 他と共著) 1999年
  81. Search for Correlated Two-photon Emission from  $e^+$  ( $^{82}\text{Sr}$ ) +Th Interactions, Physics Letters B, 458 (M. Sakai 他と共著) 1999年
  82. 「携帯型簡易蛍光X線分析装置の製作および文化財調査への応用」『RADIOISOTOPES』48 (伊藤寛・神庭信幸と共著) 1999年
  83. 「ベリリウム・鉛同位体による南西諸島出土縄文前期土器の産地と流通の研究『国立歴史民俗博物館研究報告』第77集 (西谷大・坂本稔・斉藤努と共著) 1999年
  84. 「 $^{10}\text{Be}$  表面照射年代法による水河前進期の推定—ネパールヒマラヤ・クンプ氷河の例—」『国立歴史民俗博物館研究報告』第81集 (青木賢人と共著) 1999年
  85. Radiocarbon Age Calibration for Japanese Wood Samples : Wiggle-Matching Analysis for a Test Specimen, Revue d'Archeometrie, supplement (Proceedings of 3rd International Symposium on  $^{14}\text{C}$  and Archaeology) (M. Sakamoto 他と共著) 1999年
  86. 「高精度  $^{14}\text{C}$  年代測定と考古学—方法と課題—」『月刊地球号外』26 1999年
  87. 「炭素 14 年代の新段階」『考古学研究』46 (辻誠一郎・春成秀爾と共著) 1999年
  88. 「縄文～弥生時代移行期の年代を考える—問題と展望」『第四紀研究』40 2001年
  89. Radiocarbon Calibration for Japanese Wood Samples, Radiocarbon, 45 (M. Sakamoto 他と共著) 2003年
  90. 「高精度年代測定による総合的歴史研究—現状と課題—」『国立歴史民俗博物館研究報告』第108集 2003年
  91. 「AMS $^{14}\text{C}$  年代測定と土器編年との対比による高精度編年の研究」『考古学と自然科学』45 (小林謙一・坂本稔・西本豊弘と共著) 2003年
  92. 「AMS 炭素 14 年代測定法と弥生時代の年代研究」『歴史と地理』No. 570, 2003年
  93. 「加速器質量分析法 (AMS) の考古学への応用」『応用物理』73 2004年
  94. 「関東地方縄文集落の暦年較正年代」『セルツメント研究会』4号 (小林謙一他と共著) 2003年
  95. 「炭素 14 年代とリザーバー効果—西田茂氏の批判に答えて—」『考古学研究』50 (藤尾慎一郎と共著) 2004年
  96. An automated AAA preparation system for AMS radiocarbon dating, Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B, 223-224 (M. Sakamoto・A. Kodaira と共著) 2004年
  97. 「炭素 14 年代測定法により弥生時代は 500 年さかのぼる」『現代化学』397号 東京化学同人 2004年
  98. Meteoric  $^{10}\text{Be}$  in Volcanic Materials and its Behavior during Acid-leaching, Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B, 223-224 (A. Shimaoka 他と共著) 2004年
  99. Exposure Dating of Underwater Rocks : Potential Application to Studies of Land Bridges during the Ice Ages, Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B, 223-224 (K. J. Kim と共著) 2004年
  100. 「川尻中村遺跡・原東遺跡出土試料の炭素年代測定について」『考古論叢 神奈河』第12集 (小林謙一・天野賢一と共著), 2004年
  101. 「焼町土器の炭素 14 年代と暦年較正」『国立歴史民俗博物館研究報告』第120集 (小林謙一・坂本稔と共著) 2004年
  102. 「ベリリウム同位体による縄文土器胎土のグルーピング」『国立歴史民俗博物館研究報告』第120集 (坂本稔と共著), 2004年
  103. 「弥生時代の始まり」『総研大文化科学研究』(藤尾慎一郎・西本豊弘と共著) 創刊号, 総合研究大学院大学文化科学研究科 2005年
  104. Determination of  $^{14}\text{C}$  in Volcanic gas by Accelerator mass Spectrometry, Radiocarbon, 47 (H.
-

- 
- Yoshikawa 他と共著) 2005 年
105. The Project of the Yayoi Chronology and User-facility Relationships, Proceedings of the 1<sup>st</sup> East Asian Symposium on Accelerator Mass Spectrometry (M. Sakamoto 他と共著) 2006 年
  106. 「弥生時代中期の実年代」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 133 集 (藤尾慎一郎と共著) 2006 年
  107. Absolute Calibration of <sup>10</sup>Be AMS Standards, Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B, 258 (K. Nishiizumi 他と共著) 2007 年
  108. 「民家研究における放射性炭素年代測定について その 2 重文関家住宅・重文箱木家住宅・重文吉原家住宅の事例研究」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 137 集 (中尾七重と共著) 2007 年
  109. 「炭素 14 測定からみた鬼ノ城山遺構の築造年代」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 137 集 (谷山雅彦 他と共著) 2007 年
  110. 「山梨県銚子塚古墳周溝出土木柱および樹木資料等の炭素年代」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 137 集 (小林謙一・廣瀬和雄・森原明廣と共著) 2007 年
  111. 「日本産樹木年輪試料中の炭素 14 濃度を基にした較正曲線の作成」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 137 集 (尾寄大真と共著) 2007 年
  112. Radiocarbon Wiggle-Matching of Japanese Historical Materials with a Possible Systematic Age Offset, Radiocarbon, Vol. 49 (H. Ozaki 他と共著) 2007 年
  113. Radiocarbon in 9th to 5th Century BC Tree-Ring Samples from the Ouban 1 Archaeological Site, Hiroshima, Japan, Radiocarbon, Vol. 49 (H. Ozaki 他と共著) 2007 年
  114. 「炭素 14 年代較正ソフト RHC3. 2 について」『国立歴史民俗博物館研究報告』第 137 集 2007 年
-